

修士論文要旨

2011年1月

小学生の課外スポーツ場面における  
指導者の在り方と子どもの意欲との関係

指導 井上 直子 教授

心理学研究科  
臨床心理学専攻  
209J4004  
古屋 善生

## 目次

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| <b>I. 問題の背景と所在</b> .....    | <b>3</b>  |
| 1. 社会的背景.....               | 3         |
| 2. 意欲.....                  | 3         |
| 3. 体育・スポーツ場面に関する学習意欲.....   | 4         |
| 4. 言語的フィードバックと学習意欲.....     | 6         |
| 5. 学習意欲に影響を与えるその他の要因.....   | 7         |
| <b>II. 目的</b> .....         | <b>9</b>  |
| <b>III. 本研究の構成</b> .....    | <b>9</b>  |
| <b>IV. 研究 1：質問紙作成</b> ..... | <b>10</b> |
| 1. 目的.....                  | 10        |
| 2. 方法.....                  | 10        |
| 3. 結果.....                  | 11        |
| 1) 質問項目の作成.....             | 11        |
| 2) 信頼性検証.....               | 11        |
| (1) 項目分析.....               | 12        |
| (2) 信頼性.....                | 13        |
| (3) 下位概念間の相関分析.....         | 13        |
| (4) 抽出後の尺度得点.....           | 13        |
| 4. 考察.....                  | 14        |
| <b>V. 研究 2：調査</b> .....     | <b>15</b> |
| 1. 目的.....                  | 15        |
| 2. 調査対象と調査時期.....           | 15        |
| 3. 調査方法.....                | 15        |
| 1) 第 1 回目調査実施手順.....        | 15        |
| 2) 第 2 回目調査実施手順.....        | 15        |
| 4. 調査内容.....                | 16        |
| 1) 子ども用質問紙.....             | 16        |
| (1) フェイスシート.....            | 16        |
| (2) 子ども意欲尺度.....            | 16        |
| (3) 指導者－子ども関係尺度.....        | 17        |
| (4) 自由回答.....               | 17        |
| 2) 指導者用質問紙.....             | 17        |
| (1) フェイスシート.....            | 17        |
| (2) 指導者タイプ尺度.....           | 17        |
| (3) 自由回答.....               | 17        |
| 5. 結果.....                  | 17        |
| 1) 子ども用質問紙.....             | 17        |
| (1) 子ども意欲尺度.....            | 18        |
| (2) 指導者－子ども関係尺度.....        | 18        |

|                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| (3) 第1回目調査と第2回目調査結果.....              | 18        |
| 2) 子ども意欲と指導者－子ども関係.....               | 19        |
| 3) 指導者の在り方と子ども意欲の関係.....              | 20        |
| 4) 自由回答.....                          | 21        |
| (1) 子ども用質問紙.....                      | 21        |
| (2) 指導者用質問紙.....                      | 22        |
| 5) 特徴的な結果を示したチーム.....                 | 22        |
| (1) 特徴A：「積極的態度・姿勢」と「子ども理解」の高いチーム..... | 23        |
| (2) 特徴B：子どもの意欲が著しく向上したチーム.....        | 23        |
| (3) 特徴C：子どもの意欲が著しく低下したチーム.....        | 24        |
| (4) 特徴D：子どもの意欲が常に高いチーム.....           | 25        |
| 6. 考察.....                            | 26        |
| 1) 指導者との関係と子どもの意欲.....                | 27        |
| 2) 指導者の在り方と子どもの意欲の関係.....             | 27        |
| 3) 特徴的な結果を示したチームの検討.....              | 29        |
| (1) 特徴A：「積極的態度・姿勢」と「子ども理解」の高いチーム..... | 29        |
| (2) 特徴B：子どもの意欲が著しく向上したチーム.....        | 30        |
| (3) 特徴C：子どもの意欲が著しく低下したチーム.....        | 30        |
| (4) 特徴D：子どもの意欲が常に高いチーム.....           | 31        |
| <b>VI. 結論.....</b>                    | <b>31</b> |
| <b>謝辞.....</b>                        | <b>33</b> |
| <b>引用文献.....</b>                      | <b>33</b> |

## I. 問題と目的

「意欲」とは、心理学における動機づけに相当すると考えられ、主に教育あるいは学習の場面において多くの研究が行われている。本研究では、意欲を「今よりも上手になるために努力や練習を続けようとする気持ち」と定義し、子どもたちの意欲を高めるような指導者の在り方について検討を行った。そして、小学生の課外スポーツ場面において調査を行い、子どもの意欲を向上させている指導者にはどのような共通点が存在するのかを明らかにすることを目的とした。検討にあたっては、指導を受けている子どもにも調査を行うことで、指導者と子どもの両面から指導者の在り方の検討を試みた。

## II. 方法

**研究 1** 子どもたちの意欲が向上する指導者の在り方を測定・分類するための指導者タイプ尺度を作成した。過去の研究と筆者自身の経験から質問項目を用意し、仲間評定を行った。信頼性検証は、研究 2 のデータを利用して行った。

**研究 2** A 市のドッジボールチーム(38 チーム)に所属する小学 4 年生～6 年生男女 444 名とその指導者 38 名(監督またはコーチ各チーム 1 名)に対して 2 回の質問紙調査法を実施した。第 1 回目は、4 月に子どもに対して、第 2 回目は、10 月に子どもと指導者に対して行った。子ども用質問紙は、西田(1989)によって作成された「体育における学習意欲検査(AMPET)」と森下(1981)が作成した「子どもに対する親の親和性尺度」を、それぞれ本研究用に修正した「子ども意欲尺度」および「指導者-子ども関係尺度」と、自由回答(第 2 回目調査のみ)、フェイスシートで構成された。指導者用質問紙は、研究 1 で作成した「指導者タイプ尺度」と自由回答、フェイスシートで構成された。

## III. 結果と考察

**研究 1** 筆者が用意した質問項目に対して、仲間評定を行った結果、8 つの下位概念、計 69 個の質問項目が抽出された。その後、研究 2 のデータを利用して主成分分析を行った結果、「ポリシー」(8 項目)、「社会的規範」(5 項目)、「積極的態度・姿勢」(13 項目)、「主体性の促進」(4 項目)、「フィードバック」(5 項目)、「子ども理解」(11 項目)、「ふれ合い」(4 項目)、「チーム運営」(4 項目)が抽出された。 $\alpha$  係数は.618～.899 となり、内的整合性が概ね示された。

**研究 2** 2 回の調査で分析対象となったチームは 23 チームであった。指導者は 23 名(男性 22 名、女性 1 名、年齢 38～62 歳)、子どもは 1 回目調査 136 名、2 回目調査 133 名であった。

指導者の在り方と子どもの意欲の関係および指導者と子どもの関係性を検討したところ、A 市のドッジボールでは、指導者自身の指導の在り方に対する自己評価と、子どもたちが抱いている指導者への好意が一致しているとの結果が得られた。しかし、指導者と子どもの良好な関係が子どもの意欲向上にはつながっていない、との結果となった。

また、2 回の調査結果の変化が特徴的なチームを取り上げて、その共通点を探った。その結果、数少ない事例ではあるが、指導者タイプ尺度で取り上げている全ての側面において高得点を示している指導者の下では、子どもの意欲が低下し、ある面では得点が高く、ある面では得点が高い、といった指導者の下で子どもの意欲が向上していた。この点については、数少ない事例に基づいて可能性を示したにすぎないが、今後、より詳細に検討する価値があると考えられる。

## 引用文献

- Ames, C. 1992 Classrooms: Goals, Structures, and Student Motivation. *Journal of Educational Psychology*, **84(3)** 261-271.
- Dweck, C.S. 1975 The role of expectations and attributions in the alleviation of learned helplessness. *Journal of Personality and Social Psychology*, **31(4)** 674-685.
- 藤原喜悦・下山 剛 1969 学習動機診断検査[MAAT] 金子書房, 60.
- 深井奈緒 1999 小学生の達成動機に与える言語的フィードバックの影響 日本教育心理学会総会発表論文集, **41**, 498.
- 原 祐一・松田恵示 2008 小学校体育授業における「動機づけ雰囲気」への教師の働きかけに関する研究 東京学芸大学紀要・芸術・スポーツ科学系, **60**, 143-151.
- Harter, S. 1982 The Perceived Competence Scale for Children. *Child Development*, **53**, 87-97.
- 長谷川悦示 2004 小学校体育授業における「個人の進歩」を強調した教師の言葉かけが児童の動機づけに及ぼす効果 スポーツ教育学研究, **24(1)**, 13-27.
- 伊藤豊彦 2001 小学生における体育の学習動機に関する研究:学習方略との関連および類型化の試み 体育学研究, **46(4)**, 365-379.
- 伊藤豊彦・磯貝浩久・西田 保・佐々木万丈・杉山佳生・渋谷崇行 2008 体育・スポーツにおける動機づけ雰囲気研究の現状と展望 島根大学教育学部紀要, **42**, 13-20.
- 鹿毛雅治 1993 教師による評価教示が生徒の内発的動機づけと学習に及ぼす効果—成績教示と確認教示の比較— 日本教育方法学会紀要, **18**, 65-74.
- 岸田元美 1959 児童と教師の人間関係の研究 II—児童の態度に影響する教師の条件— 教育心理学研究, **7(2)**, 1-12.
- 北尾倫彦・速水敏彦 1986 わかる授業の心理学 東京:有斐閣.
- 河野義章 1998 教師の親和的手がかりが子どもの学習に及ぼす効果 教育心理学研究, **36**, 161-165.
- 松原達哉 1993 学習意欲診断検査 岡堂哲雄(編) 心理検査学・垣内出版, 636-653.
- 松原達哉・橋川真彦・犬塚文雄 1984 学習意欲診断検査(FIGHT) 日本文化科学社.
- 三隅二不二・吉崎静夫・篠原しのぶ 1977 教師のリーダーシップ行動測定尺度の作成とその妥当性の研究 教育心理学研究, **25(3)**, 157-166.
- 宮原喜与志・勝倉孝治 1999 教師の指導態度と生徒の級友関係および学習意欲との関連—中学生用学級担任教師のAD指導態度測定尺度短縮版を用いて— 日本教育心理学会総会発表論文集, **41**, 446.
- 溝上慎一 1996 大学生の学習意欲 京都大学高等教育研究, **2**, 184-197.
- 文部科学省 1999 小学校学習指導要領(平成10年12月公示,15年12月一部改正) 大蔵省印刷局.
- 文部科学省 2006 平成17年度文部科学白書 大蔵省印刷局.
- 文部科学省 2008a 小学校学習指導要領(平成20年3月公示) 大蔵省印刷局.
- 文部科学省 2008b 平成19年度文部科学白書 大蔵省印刷局.
- 文部科学省 2009 平成20年度文部科学白書 大蔵省印刷局.

- ムーア J. W. 松田岩男 (訳) 1970 スポーツコーチの心理学 大修館書店 (Moore, J., W. 1970 The psychology of athletic coaching. Burgess Pub. Co.) .
- 森下正康 1981 児童の親に対する親和性の因子構造と尺度の作成 和歌山心理研究会 (藤田紹憲先生退官記念誌), 57-72.
- 長峰伸治・澤 祐紀恵 2009 小学校の担任教師の指導行動・態度と児童の学級適応感の関連について 金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要, 1, 53-67.
- 名取洋典 2007 指導者のことばがけが少年サッカー競技者の「やる気」に及ぼす影響 教育心理学研究, 55(2), 244-254.
- Newton, M., Duda, J. L., & Yin, Z. 2000 Examination of the psychometric properties of the Perceived Motivational Climate in Sport Questionnaire - 2 in a sample of female athletes. Journal of Sports Sciences, 18, 275-290.
- 西田 保 1989 体育における学習意欲検査 (AMPET) の標準化に関する研究—達成動機付け論的アプローチ— 体育学研究, 34(1), 45-62.
- 西田 保 1993 体育学習における期待・感情, 学習意欲, 学習行動, 体育の成績の関係 総合保健体育科学, 16(1), 19-28.
- 西田 保 1996 体育における学習意欲の喚起に関する教師の発言分析 総合保健体育科学, 19(1), 1-8.
- 西田 保 2002 体育における学習意欲診断システムの予備的検討—支持要因, 学習行動の選好, 学習意欲の類型化について— 総合保健体育科学, 25(1), 45-58.
- 西田 保 2004 期待・感情モデルによる体育における学習意欲の喚起に関する研究 杏林書院.
- 西田 保・小縣真二 2008 スポーツにおける達成目標理論の展望 総合保健体育科学, 31, 5-12.
- 西田 保・澤 淳一 1993 体育における学習意欲を規定する要因の分析 教育心理学研究, 41(2), 125-134.
- Papaioannou, A. 1994 Development of a questionnaire to measure achievement orientations in physical education. Research Quarterly for Exercise and Sport, 65(2), 11-20.
- 桜井茂雄 1983 認知されたコンピテンス測定尺度(日本語版)の作成 教育心理学研究, 31(3), 245-249.
- 桜井茂雄 1984 内発的動機づけに及ぼす言語的報酬と物質的報酬の影響の比較 日本教育心理学会, 32(4), 286-295.
- Seifriz, J. J., Duda, J. L., & Chi, L. 1992 The relationship of perceived motivational climate to intrinsic motivation and beliefs about success in basketball. Journal of Sport & Exercise Psychology, 14(4), 375-391.
- 下山 剛・林 幸範・今林俊一・浦田洌伊子・黒木眞由子・宮本光博・曾我部和広・塚田洋二・大塚慶吾・前原辰信・小沢ひろみ 1982 学習意欲の構造に関する研究(1)—児童用質問紙の作成— 東京学芸大学紀要第1部門教育科学, 33, 129-143.
- 下山 剛・林 幸範・今林俊一・黒木眞由子・塚田洋二・宮本光博・曾我部和広・大塚慶吾・前原辰信 1983 学習意欲の構造に関する研究(2)—学習意欲の類型化の検討— 東

- 京学芸大学紀要第1部門教育科学, **34**, 139-152.
- 高畑好秀 2001 その気にさせるコーチング術 山海堂.
- 高崎文子 2001 言語的フィードバックが達成動機づけに与える影響—小学生における発達の検討 ヒューマンサイエンスリサーチ (早稲田大学大学院人間科学研究科), **10**, 121-132.
- 竹内史宗 1995 子どもは「叱り」をどのように感じているか 教育心理学年報, **34**, 143-149.
- 俵 尚申 2001 コーチングにおける動機づけについての一考察 嘉悦大学研究論集, **44(1)**, 81-91.
- 遠山孝司 2005a 教師の威厳ある指導態度尺度改訂版の作成 人文学部研究論集, **14**, 171-181.
- 遠山孝司 2005b 親子関係, 教師生徒関係に関する心理学的研究の展望—親と教師の威厳ある態度研究— 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要・心理発達, **52**, 59-76.
- 遠山孝司 2006 小・中学生の親子関係, 親からの期待, 子どもの目標の関係—親子関係がよいと子どもは親の期待に応えようとするか— 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要・心理発達科学, **53**, 37-55.
- 植草伸之・松元泰儀 1995 生徒認知による信頼する教師の態度に関する研究(1) 日本教育心理学会総会発表論文集, **37**, 596.
- 植草伸之・松元泰儀 1996 生徒認知による信頼する教師の態度に関する研究(2) 日本教育心理学会総会発表論文集, **38**, 293.
- 吉田道雄・山下一郎 1987 児童・生徒の学習意欲に影響をおよぼす要因と現職教師の認知 教育心理学研究, **35**, 309-317.